学校だより

# たかはな

高花平小学校校長通信
平成21．6．22．（月）
No. 7

## ☆みなさんからのお便り☆

これまでの『**いじめシリーズ**』をお読みいただいて、保護者の皆様方からたくさんのお返事をいただきました。今回は、そんな保護者の皆様方からいただいたお便りを、抜粋して書かせていただきたいと思います。**みなさん、どうもありがとうございました！**

（1）『いじめ』は、いつになっても永遠のテーマですね。大人の世界でもなくなる事がないのですから、難しいことだと思います。ですが、それだからこそ、子どもたちに《この時期に》この問題に真剣に向き合ってほしいです。私が思うに、『相手の気持ちになる』、要するに『思いやり』が、すべてにつながると考えています。 **【5年保護者】**

（2）私たちが子どものころは、どうやって過ごしていただろうと振り返ってみることがしばしばありますが、どの時代でも『いじめ』はあって、始まりも些細なことだったりします。どうして『いじめ』のようなことが起こってしまうのか、どうしたらいいのか、私にもその答えは分かりません。そういったことにならないように、どうしてあげれば良いのか考えさせられます。私たち大人ができること、小さなことからコツコツと言い聞かせ、教えていくしかないのかもしれません。 **【3年保護者】**

（3）『無視』というのは、本当に怖いですね。教育テレビでよく『いじめ』の話など取り上げていますが、実際は小さい小学生のいじめながら、悪質なケースが増えていますね。子どもの問題は、親にも十分責任があると思います。言葉遣いでも分かりますが、親が自然に乱暴な言葉を使うと、子どももいつの間にか使っています。子どもの言葉遣いの悪さには、親は

---------- 切 り 取 り 線 ----------

（　　）年（　　）組　名前《　　》

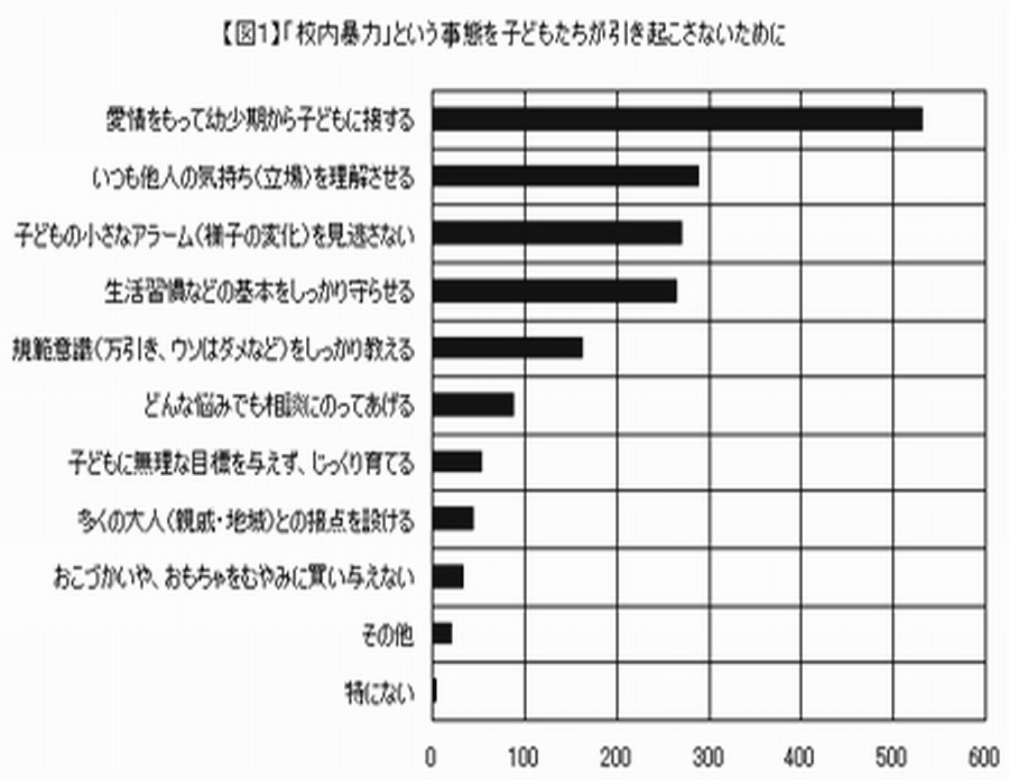
A〔　　〕載せない　B〔　　〕匿名なら載せてもいい　C〔　　〕名前入りで載せてもいい

| |
|---|
| |
| |
| |
| |
| |
| |

なかなか気が付かない（気にならない？）のかもしれません。 **【5年保護者】**

（4） 子どもの心が曲がっている・病んでいるということは、その親が病んでいると思います。自分も含めて、親（大人）の教育が必要なのかもしれません。やはり、相手の気持ちを考えられる人に教育していきたいです。私は、運動をしていたころ、先輩・後輩関係の中で、人間関係を学ばせてもらった部分が多く、今でもよかったと思っています。子どもにも、何か一つで良いですから、『没頭できる何か』を探せる環境を造ってやりたいと思います。 **【5年保護者】**

（5） 子どもたちを一人前の大人として成長させていくには、やはりいろんな経験をさせていくことが重要だと思います。幸いこの地区は、『あいさつ運動』などでも、日頃から地域の方たちに助けていただいているので、そこから交流が生まれ、数年後、子どもたちが大きく成長したころに、今度は子どもの側から地域の方への手助けが、自然にできる関係になっていたら嬉しく思います。 **【5年保護者】**




このグラフは、２００６年にベネッセが、子どもを持つ保護者８８８人に対して行ったアンケートの結果です。横軸の数は人数です。（複数回答）『いじめ』もまた、同じようなことが言えるのではないでしょうか。

切り取り線